

人権を考える

「人権」ってなんだろう…「人権」とは、一口で言えば、私たちが社会生活において幸福な生活を営むためにどうしても必要な権利です。それは、「基本的人権」と呼ばれています。私たちは、それぞれの基本的人権をお互いに尊重し合うとともに、それらを自分たちの手で大切に守り育てていかなければなりません。

基本的人権とは？

私たちは、誰もが「幸せに暮らしたい」と願っています。そのためには、「自由に発言できる」「平等に教育を受けられる」「自由に職業を選べる」「健康で文化的な生活を送られる」ことなどが必要です。これらの権利を総称して「基本的人権」と言います。

考えてみましょう、「人権」を。

みなさんは「人権」という言葉からどんな印象を受けますか？様々な印象があると思いますが、身近な感じはしないかもしれません。では、「命」や「心」という言葉は「人権」に比べ、少し身近に感じませんか？
「人権を大切にすること」は

「命・心を大切にすること」と同じです。「自分」の人権も「他人」の人権も同じように大切なものです。

人間らしく生きる

人権問題を解決するために私たちが身近なところからできること。それは、まず相手の立場を思いやること、相手の気持ちを考えることです。しかし、これは簡単そうですが、なかなかできるものではありません。我慢すること、もたくさん出てきます。しかし、それが「人間らしく生きる」ということにつながっていくのです。
相手の立場を思いやり、相手の気持ちを考えて生活するように心がけてみましょう。それが、きっと自分の幸せにもつながってくるはずです。

山口県人権推進指針

「県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会をめざして」

【基本理念】

山口県民すべてが一生の間、家庭、地域、職場、学校、施設、その他あらゆる場において、自分の人格が尊重され、他人の人格を尊重して自由で平等な生活を共に営むことができるよう、一人ひとりがかけがえない尊いいのち（生命）の主体者であるという、人間尊重を基本的な考え方として、「県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会」の実現に向け、総合的に人権に関する取り組みを推進します。

【キーワード】

基本理念に基づいたさまざまな取り組みを進めるため「いのち（生命）」「じゆう（自由）」「びやうどう（平等）」「きょうせい（共生）」をキーワードとして諸施策を推進します。

いのち（生命）

だれもが、かけがえのない「いのち」を大切にする地域社会の創造をめざします。

じゆう（自由）

だれもが、他人を害することなく、自由で自立した生活の出来る地域社会の創造をめざします。

びやうどう（平等）

だれもが、社会の一員として等しく参加・参画できる地域社会の創造をめざします。

きょうせい（共生）

だれもが、多様な文化や価値観、個性を尊重し、共に暮らせる地域社会の創造をめざします。

「障害者問題」を考えるきっかけに

今年はこの様な人権教育を実施しました

第1回長門市人権教育セミナー

■とき 7月24日(金)

■ところ 長門市立図書館

■参加者 60人

年間3回を予定しているセミナーの第1回目は、本年度の重点指導課題としている「障害者問題」を扱ったビデオ視聴とワークショップを行いました。ビデオは前田愛さん、半田健人さんら出演の「ステップ!」で、視聴後



ワークショップの様子

・感動的な映画を見るだけではなく、その後のワークショップでいろいろな意見が聞けたのがよかった。自分が少数派であることがわかった。
・「十人十色」という言葉を実感。いろいろな価値基準があることが、今日のビデオのような小さな人間社会においてもあることを感じた。
・はっきりとした障害ではなくても、他の人より時間がかかる人はたくさんいる。10の力がある人、5の力しかない人がいるのが当たり前の社会。差別と区別は違うし、心のバリアフリーの大切さを考えていきたい。

長門市人権フェスティバル

■とき 8月30日(日)

■ところ ラポールゆや

■参加者 約300人

第1回長門市人権セミナーに続き、本年度の重点指導課題「障害者問題」をテーマとし、講師に「車椅子の花嫁」としても有名な鈴木ひとみさんをお招きして開催しました。

元ミスインターナショナル準日本代表でもあり、モデルとして活躍しておられた鈴木さんが事故に遭われたのは今から25年前。その後の生き方・考え方の変化について、体験をもとに分かりやすく話していただきました。

またそれに先立って行われたミニコンサートでは日置農業高校吹奏楽部の



鈴木ひとみさんの講演

演奏がありました。人権問題と関連付けられた曲が4曲選ばれ、それを指揮者の松本先生が分かりやすく解説しながら演奏が行われました。

《参加者の感想》

・「積極的に生きてください」のしめくくりは重みがあり、まさにそのとおりで、鈴木ひとみさんに出会えてうれしく思います。女性としても尊敬できる生き方、考え方、素晴らしいもので感動し、もっともっと話を聞いてみたいと思いました。

・幸せは手に入れるのではなく「気付き」こと。生きていけばたくさん障害がある。その中でいかに人生を有意義に生きていくことが大事かということ話をしてくださり、強く心に残りました。

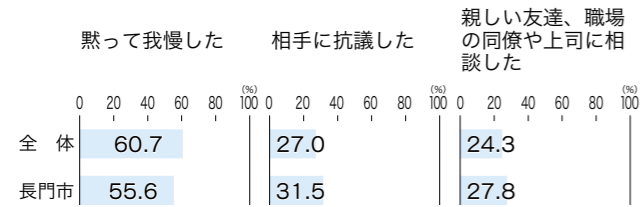


日置農業高校吹奏楽部の演奏

人権に関する意識調査報告

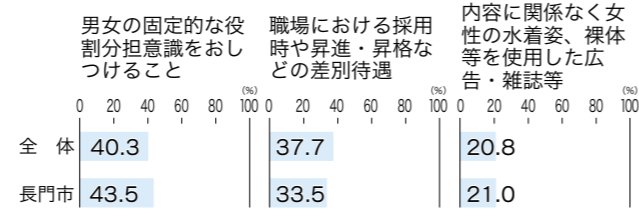
◆人権を侵害された際の対処法

問 3-3 人権を侵害された時、どのように対処しましたか (複数回答)



◆女性に関する人権上の問題点

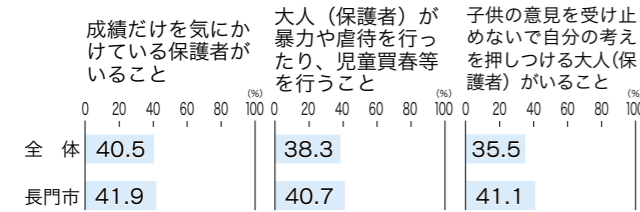
問 4 女性に関する事柄で、問題があると思われるのはどのようなことですか (複数回答)



※県全体では売春・買春（援助交際を含む）が3位でした

◆子どもに関する人権上の問題点

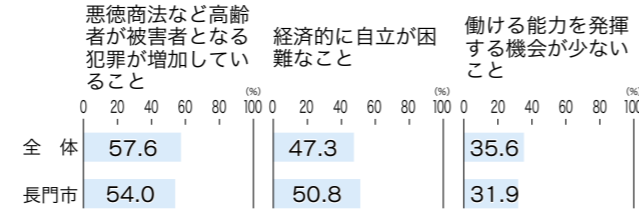
問 5 子どもに関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか？ (複数回答)



※県全体では「子どもの間でいじめが行われていること」が3位でした

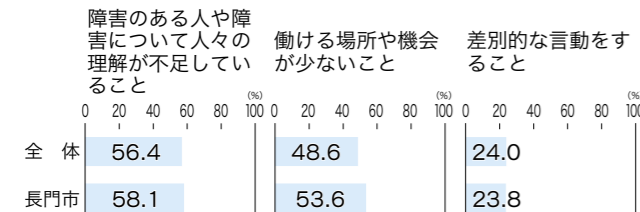
◆高齢者に関する人権上の問題点

問 6 高齢者に関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか？ (複数回答)



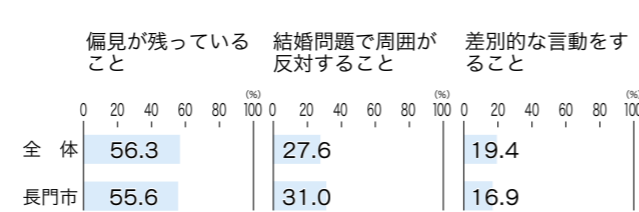
◆障害のある人に関する人権上の問題点

問 7 障害のある人に関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか？ (複数回答)



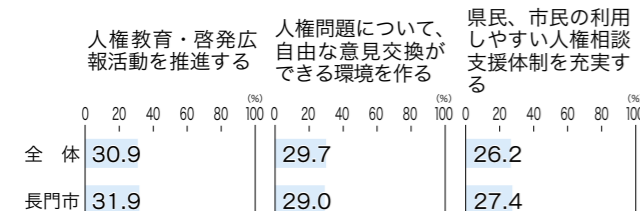
◆同和問題に関する人権上の問題点

問 8 同和問題の解決に関して、現在どのような問題があると思われますか？ (複数回答)



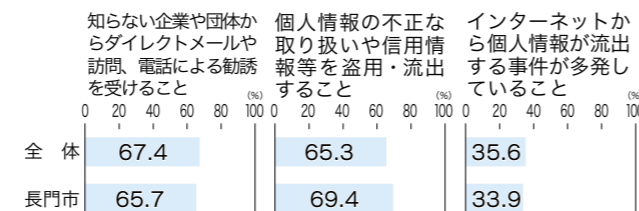
◆同和問題の解決に必要なこと

問 9 同和問題の解決に必要なことはどのようなことだと思いますか？ (複数回答)



◆プライバシーの保護に関する人権上の問題点

問 10 プライバシー保護に関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか？ (複数回答)



市では、以上のアンケート結果を今後の人権施策に反映させ、関係機関や関係団体と連携を図りながら、さらなる人権諸施策の推進に取り組めます。

山口県では、平成14年3月「山口県人権推進指針」を策定し、県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現を目指して人権諸施策が推進されてきましたが、少子高齢化や情報化等の社会情勢の変化に適切に対応しながら、引き続き人権が尊重される社会の実現に取り組んでいくため、昨年9月に「人権に関する意識調査」を行いました。

このたびその調査結果がまとまりましたので、長門市の結果を抜粋してお知らせします。

■調査対象および標本抽出方法

市内に居住する20歳以上の者を対象とし、住民基本台帳から無作為抽出法により抽出

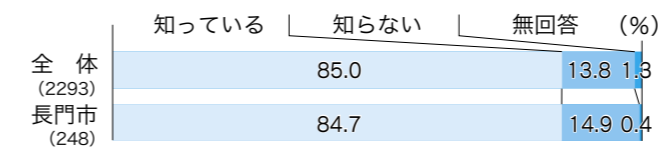
■調査票配布数 500票 (県全体：4,000票) ■有効回収数 248票 (県全体：2,293票)

■回収率 49.7% (県全体：57.7%)

※複数回答の質問は、長門市での上位3位の回答を掲載しています

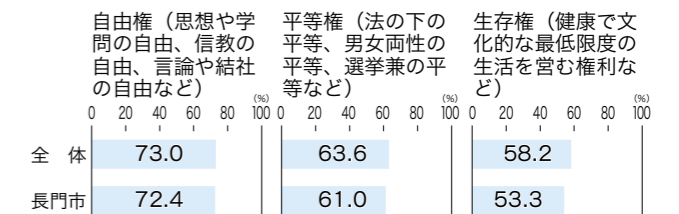
◆基本的人権に関する認知度

問 1-1 あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか？



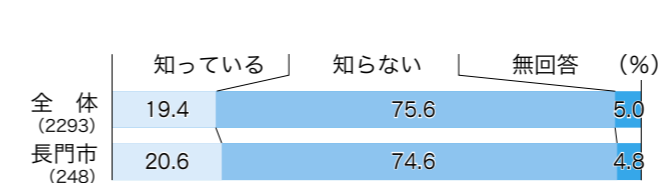
◆関心のある基本的人権

問 1-2 知っているとは回答された方で、関心のある基本的人権は何ですか (複数回答)



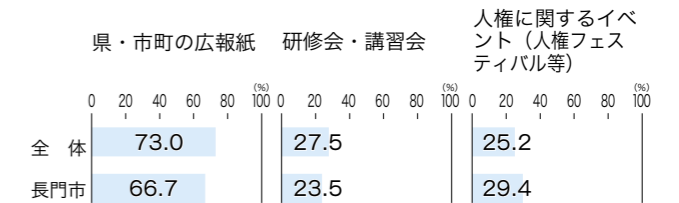
◆「山口県人権指針」の周知度

問 2-1 「山口県人権推進指針」を知っていますか。



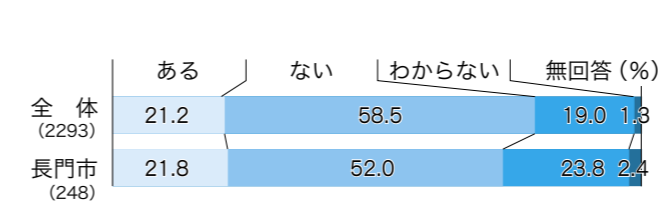
◆「山口県人権指針」を知ったきっかけ

問 2-2 知っているとは回答された方で、知ったきっかけは何ですか (複数回答)



◆人権侵害をされた経験

問 3-1 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか



◆人権侵害をされたと思った内容

問 3-2 侵害されたと思った人はどのような内容でしたか (複数回答)

